
第80期 中間報告書

(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)



証券コード5697

株式会社サンユウ

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループにおける第80期中間連結会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の事業の概況、及び決算の結果についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に支えられ、緩やかに回復しましたが、継続する物価上昇や米国トランプ政権の関税政策の影響による景気下振れリスクの高まりを受け、依然として厳しい状況が続きました。

わが国のみがき棒鋼、及び冷間圧造用鋼線の主要需要分野である自動車業界におきましては、米国トランプ政権の関税政策によるレアメタル不足等の影響もあり、回復力に乏しい状況でした。また、建産機業界では需要の低迷が継続いたしました。

このような環境下、当社グループは全社を挙げて販売数量の確保、コスト削減、及び生産性の向上を推し進めるとともに、労務費・物流コスト等の上昇を吸収すべく加工賃の是正、製品歩留りの改善、及びエネルギー原単位の削減等に努め、収益の確保に取り組みしました。

これらの結果、販売数量は前年同期比0.8%減となりましたが、売上高は12,672百万円（前年同期比5.8%増）と増収となりました。損益につきましても、販売数量の減少、及び人財確保に向けた賃金アップ等による影響があったものの、前年7月以降に実施した鋼材値上げによる製品販売価格の改定、加工賃は正のフル浸透、及びエネルギー原単位の削減等により営業利益は447百万円（前年同期比47.2%増）、経常利益は483百万円（前年同期比44.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は301百万円（前年同期比57.6%増）と増益となりました。

わが国経済の今後の見通しにつきましては、更なる労務費・諸物価の上昇等の懸念があり、楽観視できない状況が継続している中で、足元の米国トランプ政権の関税政策による自動車等の国際的なサプライチェーンに及ぼす影響、及び世界経済へのマイナス影響が引き続き懸念される状況と認識しています。

当社グループとしましては、全社一丸となって各課題に取り組む所存であり、2026年3月期の業績予想は、売上高25,300百万円（前期比3.5%増）、損益は経常利益810百万円（前期比11.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円（前期比10.9%増）を見込んでおります。

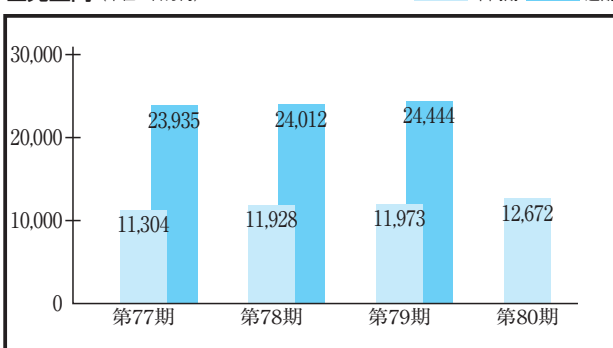
株主の皆様におかれましては、なにとぞ以上の諸事情をご賢察のうえ、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

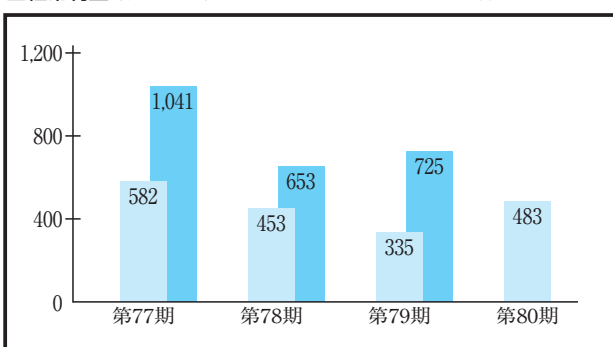
代表取締役社長 **喜多 章**

連結業績の推移

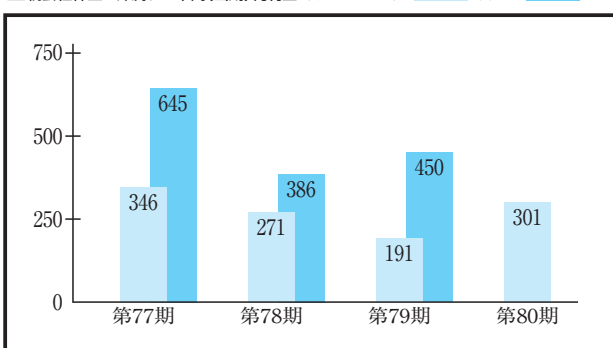
■売上高（単位：百万円）



■経常利益（単位：百万円）



■親会社株主に帰属する中間(当期)純利益（単位：百万円）



事業の内容

●生産

大阪府内の2工場、及び熊本県の九州工場を軸に、品質・数量ともに安定した効率的生産体制を構築しています。

需要家の求めるあらゆる用途や仕様に適合する優れた品質の製品を安定的・効率的に生産し、迅速・確実にお届けするために、大阪府内の枚方市と八尾市、及び熊本県菊池市に消費地密着型のみがき棒鋼（普通鋼・構造用鋼、合金鋼、快削鋼、ステンレス鋼）と冷間圧造用鋼線（普通鋼・構造用鋼、合金鋼）の工場を展開しています。

枚方市にある枚方工場では、みがき棒鋼の多品種生産を行うとともに精密加工により、高付加価値製品を産み出しています。八尾工場、及び九州工場では、みがき棒鋼を生産するとともに自動酸洗設備、及び熱処理炉を最大限に活用した冷間圧造用鋼線の生産により、自動車関連需要に対応しています。高炉・電炉メーカーの厳しい品質管理のもとで生産された優れた素材を使用することにより、良質のみがき棒鋼、及び冷間圧造用鋼線を生産し多くの産業界に提供しています。

●品質管理

鉄鋼メーカーと共同でよりよい品質の製品を開発しており、厳しい品質管理体制は需要家にも定評があります。

技術革新の著しい進展のなかで、製品に対する品質要求はますます高まっています。当社グループでは、高品質の製品を生産するために、その生命線ともいべき引抜きダイスの寸法精度を厳密に管理するとともに製品の寸法精度や形状精度を向上させ、表面きず等を低減させるために、徹底した工程内検査や厳格な出荷前検査を実施しています。特に表面きずについては渦流探傷機等を活用し、万全の注意を払って検査しています。また、鉄鋼メーカーとは新製品・新技術の開発計画、品質等について定期的に検討会を開催し、共同での改善・開発や共同品質管理体制を確立しています。

(株)サンユウにおきましては、ISO9001、及びISO14001の国際規格を認証取得しており、今後とも品質の充実を図ってまいります。

●物流

業界随一の自動立体倉庫を軸に多品種の標準製品を常備在庫し、多様なニーズに即応できる全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

「必要なとき必要な製品を必要だけ供給する」といった販売基本方針のもと、製品を供給するために、全国をカバーする物流・情報ネットワークを構築しています。その核となるのが、大阪府内2カ所に設けた立体倉庫で、常時9,000トンもの多彩な標準製品をストックしています。特に東大阪市に設置した業界初の自動立体倉庫では出入庫管理はすべてコンピューター化されているので、需要家が求める製品がどこにあるかを瞬時に検索することができるようになっていきます。その結果、効率的な搬出入作業が可能となり、近畿圏の即納体制を確立しています。

また、北海道から九州まで、全国各地を網羅した地域特約店との関係を強化することにより、(株)サンユウの各営業店舗並びに子会社の大阪ミガキ(株)、及び大同磨鋼材工業(株)の各拠点と合わせて全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

●技術

優れた良質の素材と最新の技術力、設備力で、高精度・高品質のみがき棒鋼、及び冷間圧造用鋼線を効率的に生産しています。

みがき棒鋼、及び冷間圧造用鋼線は、鉄鋼メーカーの優れた品質の熱間圧延材を使用し、冷間引抜き加工等により生産しています。冷間引抜き加工とは、厳密な寸法・形状の穴型をもつ引抜きダイスと呼ばれる超硬合金製の工具で、少し大きい寸法の素材を穴型を通して引き抜くことにより、穴型の寸法・形状に成型する加工方法のことをいいます。

このうち、みがき棒鋼は（引き抜きー矯正）工程または（表面切削（ピーリング）ー矯正）工程により精密な寸法・形状に仕上げられた棒状の製品をいい、引抜き機は細物用に使用する連続抽伸機と太物用に1本ずつ引き抜く棒鋼引抜き機（ドローベンチ）の2種類を使用しています。当社グループでは、最新の連続抽伸機、棒鋼引抜き機、ピーリング、及び矯正機を導入し、精密で高品質の製品を効率よく生産し、さまざまな需要家ニーズに応じています。

一方、冷間圧造用鋼線は、自動酸洗設備で表面の酸化皮膜を除去した後、伸線機で引き抜くことにより精密な寸法・形状に仕上げられたコイル状の製品をいい、熱処理設備で熱処理を行うことにより、高品質の製品を生産し好評を得ています。

中間連結財務諸表の要旨

中間連結貸借対照表（2025年9月30日現在）

(単位:千円)

科 目	金 額
[資 産 の 部]	
流 動 資 産	13,690,714
現金及び預金	3,329,967
受取手形及び売掛金	3,492,599
電子記録債権	2,174,198
棚卸資産	4,663,242
その他	30,707
固 定 資 産	5,614,250
有形固定資産	4,744,951
建物及び構築物	1,396,595
機械装置及び運搬具	1,221,124
土地	1,996,055
その他	131,177
無形固定資産	66,014
投資その他の資産	803,284
資 産 合 計	19,304,964
[負 債 の 部]	
流 動 負 債	7,988,377
支払手形及び買掛金	1,752,047
電子記録債務	3,966,125
短期借入金	1,230,000
1年内返済予定の長期借入金	95,180
その他	945,024
固 定 負 債	588,317
長期借入金	276,900
退職給付に係る負債	170,550
その他	140,867
負 債 合 計	8,576,695
[純 資 産 の 部]	
株 主 資 本	10,016,115
資 本 金	1,513,687
資 本 剰 余 金	1,399,205
利 益 剰 余 金	7,124,661
自 己 株 式	△ 21,439
その他の包括利益累計額	10,015
その他有価証券評価差額金	10,015
非 支 配 株 主 持 分	702,139
純 資 産 合 計	10,728,269
負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,304,964

(注) 1. 連結子会社は、大阪ミカキ株式会社及び大同磨鋼材工業株式会社の子会社であります。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 14,231,225千円

中間連結損益計算書

(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

科 目	金 額
売 上 高	12,672,259
売 上 原 価	10,927,804
売 上 総 利 益	1,744,455
販売費及び一般管理費	1,296,813
営 業 利 益	447,642
営 業 外 収 益	46,049
営 業 外 費 用	9,724
経 常 利 益	483,967
特 別 利 益	99
特 別 損 失	126
税金等調整前中間純利益	483,941
法人税、住民税及び事業税	156,214
法 人 税 等 調 整 額	△ 1,517
中 間 純 利 益	329,243
非支配株主に帰属する中間純利益	27,601
親会社株主に帰属する中間純利益	301,641

(注) 1株当たり中間純利益 49円90銭

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	914,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 320,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 392,470
現金及び現金同等物の増加額	200,906
現金及び現金同等物の期首残高	3,129,061
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,329,967

会社の概要

2025年9月30日現在

社名 株式会社サンユウ
所在地 本社／大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号
電話：072-858-1251 FAX：072-858-2672
設立 1957年1月
資本金 1,513百万円
従業員数 195名（単体）、305名（連結）
事業内容 みがき棒鋼の製造、加工、及び販売
冷間圧造用鋼線の製造、加工、及び販売

重要な子会社の状況

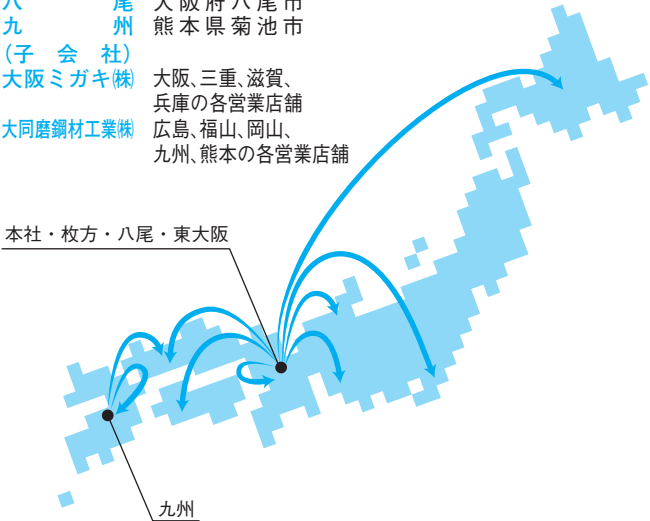
2025年9月30日現在

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
大阪ミガキ株式会社	40百万円	72.4%	みがき棒鋼の製造、及び販売
大同磨鋼材工業株式会社	20百万円	100.0%	鋼材の販売

主な事業所及びネットワーク

2025年9月30日現在

本社（営業店舗） 大阪府枚方市
枚方 大阪府枚方市
八尾 大阪府八尾市
東大阪 大阪府東大阪市
九 大阪府九尾市
（工場） 大阪府枚方市
枚方 大阪府枚方市
八尾 大阪府八尾市
九 大阪府九尾市
（子会社） 大阪ミガキ（株） 大阪、三重、滋賀、
兵庫の各営業店舗
大同磨鋼材工業（株） 広島、福山、岡山、
九州、熊本の各営業店舗



役員

2025年9月30日現在

代表取締役社長	喜多 章
取締役	荒木 克典
取締役	清家 徹
取締役	伊豆 大助
取締役	清水 良寛
取締役	若林 嘉幸
常勤監査役	生方 徹
監査役	藤田 典明
監査役	宮澤 彰
上席執行役員	松井 亮一
執行役員	笹山 英俊
執行役員	向井 徹
執行役員	河村 岳史
執行役員	平田 裕介

（注） 1. 取締役清水良寛、及び若林嘉幸の両氏は社外取締役であります。
2. 監査役生方徹、藤田典明、及び宮澤彰の3氏は社外監査役であります。

株式の状況

2025年9月30日現在

発行可能株式総数 19,344,000株
発行済株式の総数 6,091,000株

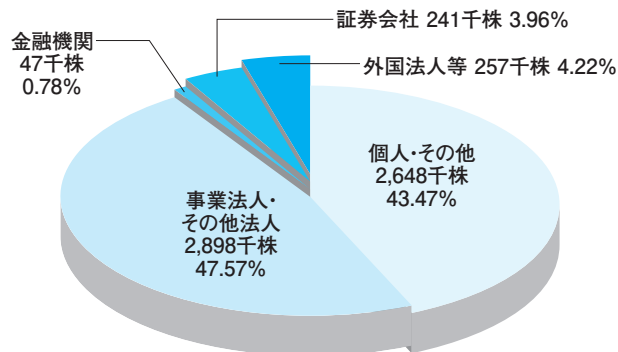
株 主 数 2,633名

大 株 主（上位10名）

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
日本製鉄株式会社	2,035 千株	33.67 %
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	452	7.49
村 岡 克 彦	270	4.48
日鉄物産株式会社	250	4.14
サンユウ従業員持株会	196	3.25
永 田 麻 里	187	3.10
小 川 由 晃	140	2.32
柏 木 伸 夫	135	2.25
INTERACTIVE BROKERS LLC	107	1.78
高 島 庄 二 郎	90	1.50

（注）持株比率は、発行済株式の総数から自己株式（46,570株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告により当社ウェブサイト (<https://www.sanyu-cfs.co.jp>) に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

各種お問合せ先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777（通話料無料）

※受付時間 9:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）

IRメール配信のお知らせ

当社では、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信しています。

配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録（無料）いただけます。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=5697>

IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。

